

むりおか

広報

2016

12月15日号(No.1447)

◆主な内容◆ (平成28年12月15日号)

盛岡の2016	2～3ページ
年未年始のお知らせ	4～5ページ
イクボス講演会、ライフデザイン講演会、馬コ装束作り	6ページ
めぐるちゃん講座、健康ガイド	7ページ
各種講座情報	8～9ページ
ウインタースポーツ各種教室特集	12ページ



地域の足「マイレール」を守り、町のにぎわいづくり



ご利用ください

J R山田線

市とJR東日本盛岡支社は、来年3月までJR山田線の盛岡駅～上米内駅間の利用促進に向けた社会実験を実施中。平日の夕方・夜間の列車2往復を増便しています。冬期間の交通渋滞緩和にもつながる公共交通。ぜひご利用ください。

社会実験について詳しくは、交通政策課 ☎626-7519 へどうぞ。

地 域住民の生活の足である「JR山田線」を守り、山岸地区にぎわいを。

そんな思いから「JR山田線ファンクラブ」(豊村徹也会長、会員数115人)は平成27年3月に発足し、地域住民や山田線利用者などで活動を展開しています。今年3月には「やまぎし駅周辺ぶらっとマップ」を作成。盛岡藩の筆頭寺院であった永福寺や、瓦などを焼く窯場があったことに由来する岩手焼踏切など、山岸駅で下車して散策したくなる地域の名所を紹介しています。

11月27日には「JR山岸駅周辺まち歩き歴史散歩」を開催し、同クラブの会員のほか市民ら約40人が参加しました。愛宕町第一町内会の宇部功会長を講師に、「塩の道」としてにぎわった野田街道や、養蚕が盛んに行われていた痕跡などを約2時間かけて散策。JR山田線を利用して山岸駅に集合した同クラブ会員の富岡一也さん(54)は三ツ割三は「電車の車窓から見ると、景色が違って見えて新鮮だった。何となく知っていた山岸の歴史を詳しく聞いたことで、ますます深く知れた」と満足。マップ作りのリーダーを務めた中屋敷秀義さん(73)は山岸四丁は「山岸駅を起点に、歩いて楽しめる場所はたくさんある。今後も別の散策ルートでまち歩きを計画したい」と話していました。